

開会式・オープニング

開催日：平成30年10月6日(土)

開催場所：屋内会場:iichiko総合文化センター 屋外会場:大分県立美術館前(歩行者天国)



●実施状況

第33回国民文化祭・おおいた2018、第18回全国障害者芸術・文化祭おおいた大会の幕開けとなる「開会式・オープニング」は、皇太子同妃両殿下御臨席のもと、大分市のiichiko総合文化センターを中心とした芸術文化ゾーン【屋内会場:iichikoグランシアタ、屋外会場:大分県立美術館前(歩行者天国)】で盛大に開催し、屋内・屋外会場合わせて約15,000人の皆様にご来場いただきました。

プロローグは、作曲家で大分県立芸術文化短期

大学名誉教授の河野敦朗氏が大分の自然の神秘的な気配や人々の生き生きとした姿などをイメージして作曲した「響天」を大分県吹奏楽連盟特別編成吹奏楽団が演奏するとともに、県内の美しい風景や暮らしなどを映像で紹介しました。

開会式典は、東京藝術大学音楽学部声楽科の石本高雅氏(大分市出身)の伸びやかな歌声に合わせて会場全体による国歌斉唱ではじまり、柴山昌彦文部科学大臣、根本匠厚生労働大臣、第33回国民文化祭大分県実行委員会 第18回全国障害者芸術・文化祭実行委員会会長 広瀬勝貞大分県知事



総合司会



大分県吹奏楽連盟特別編成吹奏楽団



国歌斉唱



主催者挨拶



歓迎の辞



開会宣言



が主催者挨拶を行いました。さらに、皇太子殿下より、「大分県は、歴史的文化遺産や伝統芸能が数多く存在し、約300年にわたった小藩分立の歴史により、それぞれの地域で独自の気風が育ち、それらが互いに取り込み融合し、独自の新しい文化が創りあげられてきました。この大分の地において、文化祭が開催されることは、誠に意義深く、このような取組を通じて、地域の伝統芸能や文化を見つめ直すとともに、地域やジャンル、世代を超えた交流の輪が広がることで芸術文化活動の裾野が広がり、新しい文化が創造されることを期待しています」とのおことばを賜り、井上伸史大分

県議会議長からは歓迎の辞が述べられました。

その後、県内各地で伝統芸能の継承や芸術文化活動、地域活動などに携わりながら今大会をPRしてきた「おおいた大茶会盛り上げ隊」の16名により、文化祭の開会を高らかに宣言しました。

引き続き、芥川賞作家の小野正嗣氏（佐伯市出身）の脚本、穴井豪氏（大分市出身）の演出・振付によるオープニングステージ「ヨロコビ・ムカエル?」を披露しました。

「ヨロコビ・ムカエル?」は、おまつりの行列を待つ架空の小さな村の物語。言葉も通じない見知らぬ訪問者ヨロコビ（少女）とオジイ（老人）が突



然村に現れ、村人たちはその異質な存在に戸惑います。さらに、仮面をつけたシェンシェイ（男）も現れ、ヨロコビ、オジイとコミュニケーションをとろうとします。異質な存在が向き合い、警戒と不安、困惑が巻き起こりますが、皆がそれぞれの立場で辛い経験や思いを乗り越え、全てを受容していきます。そして、歓び（ヨロコビ）を抱きながら、おまつりの日を迎える（ムカエル）までを描いています。

今回のステージは、身体表現を中心とした独特な演出手法、さらには、屋内・屋外会場を使用した多次元な舞台構成など、場面ごとに人間の複雑な気持ちを表現した芝居やダンスが行き交うとともに、ヴァイオリン、太鼓、合唱、ブレス・ボイス・パーカッション、バトン、神楽、タップ等の

多彩な演技・演奏が観客を独特な世界観に引き込みました。そして、新しいものを拒まず、受け入れ、歓待するといった大分の県民性を表す舞台を、総勢300人以上の県民を中心とした出演者たちが見事に演じきりました。

続いて行われたエピローグでは、オープニングステージ出演団体による神楽や合唱、太鼓の演技・演奏を披露し、観客を一層魅了しました。

当日は、屋内・屋外会場を大型スクリーンやLEDビジョンにより映像中継し、臨場感と一体感を創出するとともに、大会テーマ「おおいた大茶会」に基づき、大分県の銘菓やドリンクでのおもてなし、屋外会場でワークショップや記念アトラクションを実施するなど、誰もが気軽に立ち寄り、



屋内会場



屋外会場

楽しめる空間づくりを演出しました。子どもからお年寄りまで、障がいのある方もない方も、外国の方も誰もが楽しめる大分ならではの芸術文化のお祭りの幕開けとなりました。

●プログラム

総合司会 賀来 千香子（女優）
富田 典保（NHK大分放送局アナウンサー）

■プロローグ

◎響天 作曲：河野 敦朗（作曲家、大分県立芸術文化短期大学名誉教授）
演奏：大分県吹奏楽連盟特別編成吹奏楽団
指揮：竹内 紀夫（大分県吹奏楽連盟）

◎大分県の風景や暮らしの紹介映像

■皇太子同妃両殿下御入場

■開会式典

◎国歌斉唱

石本 高雅（東京藝術大学音楽学部声楽科1年）

◎主催者挨拶

文部科学大臣 柴山 昌彦

厚生労働大臣 根本 匠

第33回国民文化祭大分県実行委員会

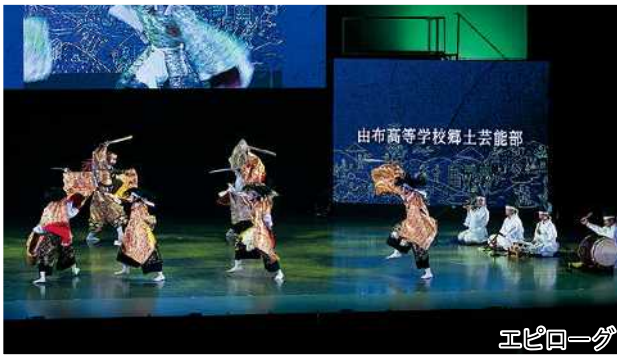
第18回全国障害者芸術・文化祭実行委員会

会長 大分県知事 広瀬 勝貞

◎皇太子殿下おことば

◎歓迎の辞

大分県議会議長 井上 伸史



エピローグ



受付



ボランティア活動



おもてなしコーナー



イベント紹介ブース



◎開会宣言

おおいた大茶会盛り上げ隊

■オープニングステージ「ヨロコビ・ムカエル？」

脚本：小野 正嗣（作家、立教大学教授）
演出・振付：穴井 豪（ダンサー、振付家、演出家）
出演：一般公募

ゆふいん源流太鼓、大分東明高等学校バトントワリング部、大分県立由布高等学校郷土芸能部、津久見の海少女合唱団、大分ゆかりのゲスト 等

◎序章「記憶 -ふるさとを探して-」

◎一場「出逢 -見知らぬ訪問者-」

◎二場「彷徨 -大切なものを抱いて-」

◎三場「鎮魂 -忘れがたき景色-」

◎四場「ハレの日 -未来(あす)へのヨロコビ-」

■皇太子同妃両殿下御退場

■エピローグ

神楽、合唱、和太鼓の演技・演奏

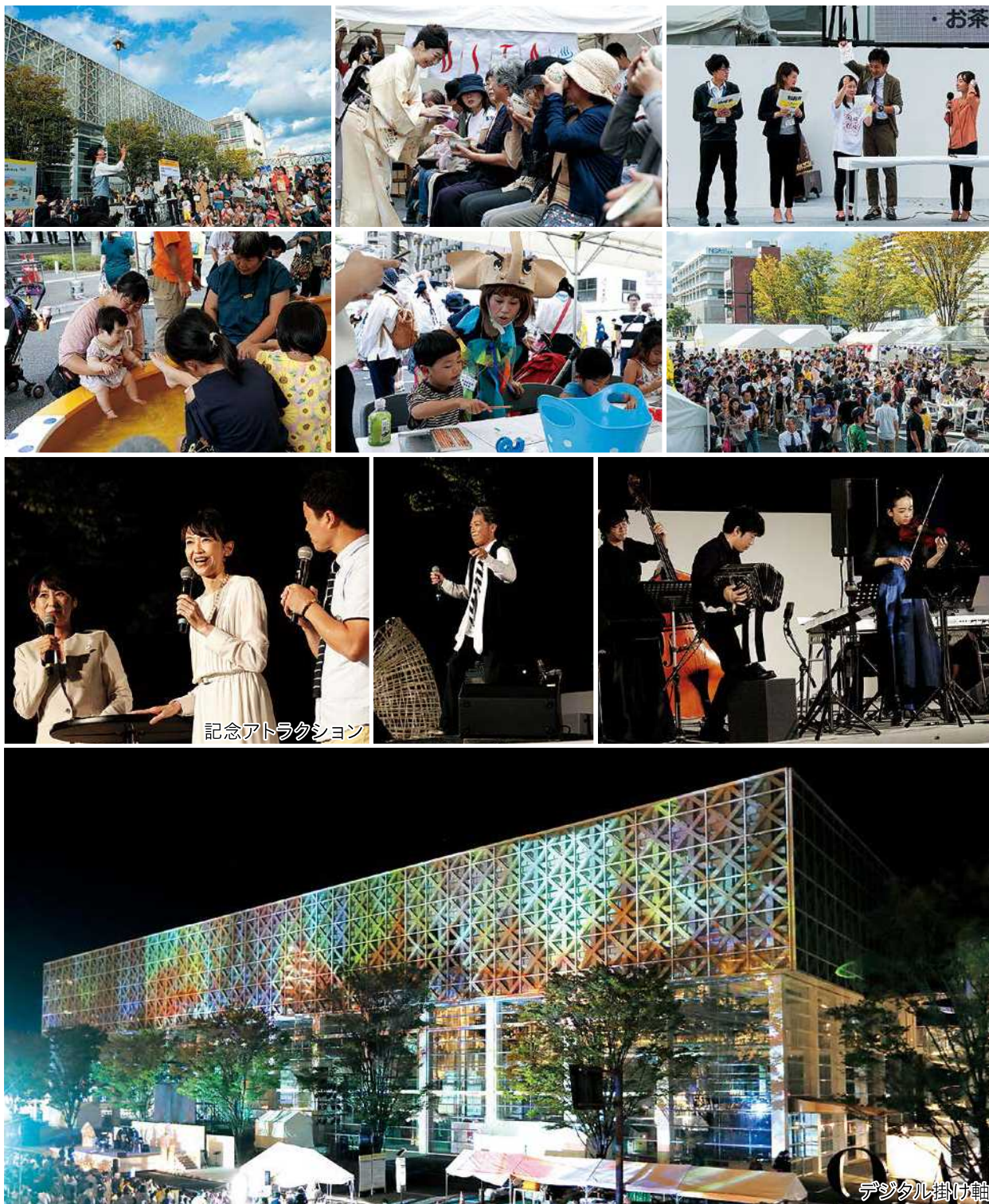
◎神楽：大分県立由布高等学校郷土芸能部

◎太鼓：ゆふいん源流太鼓

◎合唱：津久見の海少女合唱団

■イベント紹介・おもてなしコーナー【屋内・屋外会場】

◎動画や写真、チラシによる県内5つのゾーンのイベント紹介（屋内会場）



- ◎大分銘菓やドリンクの提供（屋内会場）
- ◎県内5つのゾーンから、人気飲食ブースの出店（屋外会場）
- ◎足湯やお茶席、ふるまい鍋によるおもてなし（屋外会場）

■ステージイベント、ワークショップ【屋外会場】

- ◎文化祭特別番組のラジオ公開生放送
- ◎アーティストによる子ども向けワークショップ
- ◎大道芸パフォーマンス

■記念アトラクション【屋外会場】

- ◎長谷川 章（デジタルアーティスト）による幻想的な空間照明アート「デジタル掛け軸」

- ◎賀来 千香子（女優）によるミニトーク
- ◎HIDEBOH（タップダンサー・俳優）によるパフォーマンス
- ◎宮本 笑里（ヴァイオリニスト）、小松 亮太（バンドネオン奏者）によるミニコンサート

●主催者

文化庁 厚生労働省 大分県 大分県教育委員会 第33回国民文化祭大分県実行委員会、第18回全国障害者芸術・文化祭実行委員会

フィナーレ・閉会式

開催日：平成30年11月25日(日)

開催場所：iichiko総合文化センター

フィナーレステージ



●実施状況

「おおいた大茶会」を大会テーマに、大分県内全域で開催した第33回国民文化祭・おおいた2018、第18回全国障害者芸術・文化祭おおいた大会。両大会を締めくくる「フィナーレ・閉会式」

は、iichiko総合文化センター iichiko グランシアタで、県内外から約1,800人の皆様にご来場いただき開催しました。

フィナーレステージは、藤間流日本舞踊家藤間蘭黄氏の舞踊台本・演出・振付、作曲家大島ミチル氏の音楽による「大分の山々巡行」。歳神の使



いとして選ばれた若い男女二人が、豊の国の様々な地域（出会いの場、祈りの谷、豊かな浦、耕す里、水の森）を巡り、宝を探すという物語です。

本宮山、四極山、的ヶ浜、佐伯、臼杵、六郷満山、八面山、祖母山、由布岳などの山や海の美しい自然を背景に、日本舞踊や洋舞踊、能、長唄、ダンス、合唱等、県内の芸術文化団体を中心に、ふるさとへの感謝の思いや自然に対する畏敬の念を踊りと音楽で披露しました。また、詩吟とダンス、長唄とバレエの共演等、大会の基本方針の一つである「新しい出会い、新たな発見ー伝統文化と現代アート、異分野コラボー」を体現したステージとなりました。さらにクライマックスでは、大分の宝を再発見した喜びを表す「大分賛歌」を出演

者全員で歌うなど、華やかかつ幻想的なステージに、観客から大きな歓声と拍手が送られました。

引き続き、51日間にわたって開催した今大会の軌跡を映像で振り返り、閉会式典では、中岡司文化庁次長、橋本泰宏厚生労働省社会・援護局障害保健福祉部長、第33回国民文化祭大分県実行委員会 第18回全国障害者芸術・文化祭実行委員会会長広瀬勝貞大分県知事が主催者挨拶を行いました。挨拶後、大分県から新潟県へ大会旗を引き継ぐとともに、高井盛雄新潟県副知事による挨拶や新潟県のアトラクションが披露されました。

グランドフィナーレは、和太鼓エンターテイメント集団「DRUM TAO」による力強い演奏の中、大分県・新潟県出演者も登場するなど、観客と一



国民文化祭旗引き継ぎ



主催者挨拶



新潟県アトラクション



おおいた大茶会盛り上げ隊インタビュー



グランドフィナーレ



体となった感動的で素晴らしいエンディングを迎えることができました。

会場では、障がいのある人もない人も誰もが快適に舞台を楽しめるよう、手話、要約筆記、情報保障席を設けるとともに、次期開催県である新潟県のPRコーナーも設置しました。

●プログラム

総司会 財前 真由美 (フリーアナウンサー)

■フィナーレステージ「大分の山々巡行」

企画・原作：フィナーレステージ実行委員会
舞踊台本・演出・振付：藤間 蘭黄 (藤間流日本舞踊家)
音楽：大島 ミチル (作曲家)

出演：県内芸術文化団体 等

◎開幕 序曲

◎プロローグ

◎第一景 出会いの場 【本宮山・霊山、四極山 (高崎山)、的ヶ浜・笠縫島】

◎第二景 豊かな浦 【佐賀関・佐伯・臼杵】

◎第三景 祈りの谷 【六郷満山、御許山】

◎第四景 水の森 【八面山、月出山岳、久住山】

◎第五景 耕す里 【祖母山】

◎第六景 出会いの場 【鶴見岳、由布岳】

◎フィナーレ

■「おおいた大茶会」の軌跡

■閉会式典

◎主催者挨拶



文化庁次長 中岡 司
 厚生労働省社会・援護局障害保健福祉部長
 橋本 泰宏
 第33回国民文化祭大分県実行委員会
 第18回全国障害者芸術・文化祭実行委員会
 会長 大分県知事 広瀬 勝貞

◎国民文化祭旗引き継ぎ
 ◎次期開催県挨拶
 新潟県副知事 高井 盛雄

■新潟県アトラクション
 ◎スペシャルサポーター NGT48のメッセージ
 映像、新潟県PR映像の上映
 ◎「フルーティストソングライター=笛人（ふえびと）」本宮 宏美によるステージ

◎長岡花火「フェニックス」映像の上映
 ■グランドフィナーレ
 演出：DRUM TAO、演出家 フランコ ドラオ
 出演：DRUM TAO、大分県・新潟県出演者 ほか
 ◎和太鼓エンターテイメント集団「DRUM TAO」の演奏
 ◎DRUM TAOと大分県・新潟県出演者による
 フィナーレ

●主催者
 文化庁 厚生労働省 大分県 大分県教育委員会 第33回国民文化祭大分県実行委員会、第18回全国障害者芸術・文化祭実行委員会